



私学入試、おつかれさま！

2月10日から始まった京阪神の私立高校入試がだいたい終わり、今週は次々と合格発表があります。この連休中に発表のあった高校もありました。結果は発表のあった次の日の朝に担任の先生に必ず報告してください。

この日まで何回か懇談を重ね、みんなの進路を一緒に考えてくださった担任の先生に一番に聞いてもらわないといけなと思います。よかった時も残念だった時もまずは担任の先生に報告してください。進路先が決まれば、顧問の先生やお世話になった人たちには報告に行きましょう。たくさんの方が気にして報告を待っていますよ。

さて今回の私学入試ではほとんどの人が併願受験で、いよいよ今週の16日・17日にある公立前期選抜が本命という人がほとんどです。今回の結果はひとまず横に置いておいて、本命の合格に向けて、準備を進めてほしいと思います。

しかし、前期選抜では各定員の30%、70%、100%と高校や学科において合格者枠が違います。中期選抜まで受験する人はほとんど受験するので、結構な数の人が残念な結果となります。ですから「合格したらラッキー」というくらいの気持ちで受験してほしいと思います。

新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスに感染する人が減らない中、受験はまだ続きます。体調管理には十分気をつけてください。前期選抜には追検査日(3月3日)が用意されています。これは「新型コロナウイルスに感染した」または「濃厚接触者と特定された」人に対して行われます。それ以外の人については通常に受験ができます。ただし、当日37.5℃以上の発熱があり体調がすぐれない人は、追検査となります。追試験の対象は100%募集の高校のみで中期選抜がある場合はそこでのチャレンジとなります。

また「感染者ではあるが、試験開始までに待機がとけた場合」、通常通り受験ができます。また、「濃厚接触者でも受験当日、無症状で条件を満たせた場合」、前期選抜の受験日に別室にて受験することができます。きちんとした手続きが必要ですので、必ず担任の先生と相談してください。詳しくは受験票と一緒に渡した「新型コロナウイルス感染症対策にかかわる注意事項」をよく読んでおいてください。

進路先が決まった人が何人かできてきました。おめでとうございます!さぞかしほっとしていることでしょう。しかし、これからどうするべきなのかをよく考えて行動してください。入試はゴールではなく、次の高校入学後にむけて学力をつけていかなければなりません。また、入試は団体戦です。「この3年間一緒にこの太秦中学校で学んできた仲間たちを最後まで応援しよう!」という姿勢を貫いてください! 全員の受験が終わるまでは、そのことを考えて行動できる学年であってほしいと思います。

